

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月01日	作成者名	渡邊 昌彦	評価者名	駒崎 稔
-----	-------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	市民生活部・防犯くらし交通課
分野	05 消費生活	関係課	
施策	34 消費生活の安全確保		
施策の目的	市民が消費者としての正しい知識と情報を持つことにより、消費生活上の不安や疑問などを解消し、安全で豊かな消費生活を営めるようにします。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	消費者啓発事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
消費生活相談件数	消費生活相談件数	件	875	700	611	659			
消費生活出前講座実施校数	市内小中学校における消費生活出前講座の実施校数（累計校数）	校	18	3	7	11			
その他施策の取組事項に係る成果	啓発活動の一環として、消費生活展を2回実施し、述べ971名の市民へ啓発を行った。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>1. 劇場型投資詐欺、インターネット販売、買取詐欺など複雑化、巧妙化する消費者トラブルの防止のための情報提供及び被害に遭われた方たちへの的確な対応。</p> <p>2. 消費生活センターや出前講座に対する認知度の向上。</p>	対応策	<p>1. 県や消費者庁のPIO-NETシステムを活用したタイムリーな情報をSNS等を活用し迅速に提供すると共に、警察や地域包括センター等の関係機関との連携による消費者被害の防止と消費生活相談員による被害者に対する的確な対応を図っていく。</p> <p>2. HPやポスター、パンフレット等により消費生活センターの周知を図る。また、展示や啓発品で消費生活に関する情報提供の機会として消費生活展を開催し、消費意識の向上を図る。</p> <p>3. 市民が相談しやすい環境を作り上げる。</p>
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	消費生活相談により、消費者被害の未然防止・契約トラブルの解決などの確に相談対応を実施している。また、多重債務相談により解決の方向性を提供し、家計相談により多重債務に陥る前に助言を実施している。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	消費者被害が後を絶たないことから、タイムリーな情報の提供を広報・ホームページ・ツイッター等により行うと共に、消費生活センターの存在を周知していく。
→		

(評価者コメント)

消費生活相談員の専門知識を活かし、様々な消費生活相談への的確な対処が図られた。引き続きSNS等を活用し、市民に適切な消費者情報を提供するとともに、消費生活センターの更なる周知に力を入れていく。また、消費者被害が深刻化しやすい未成年者や高齢者向けの出前講座等の内容も工夫を加えながら、トラブルに巻き込まれないよう意識啓発を進めることとしたい。
--

